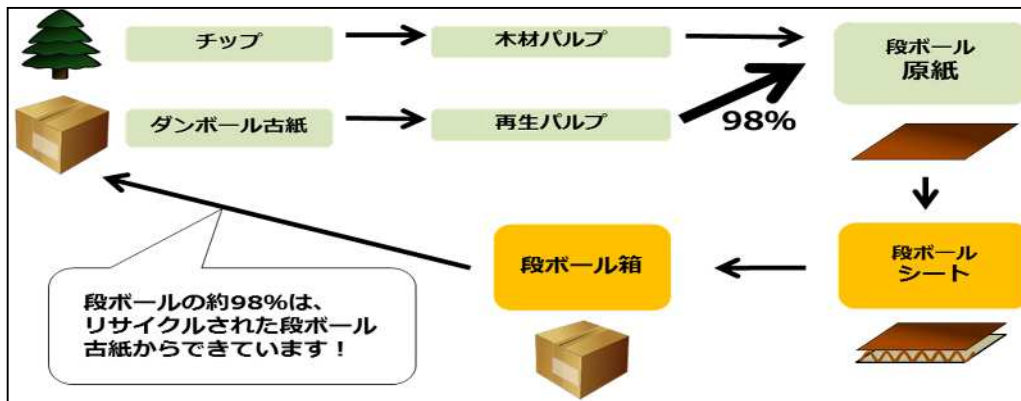


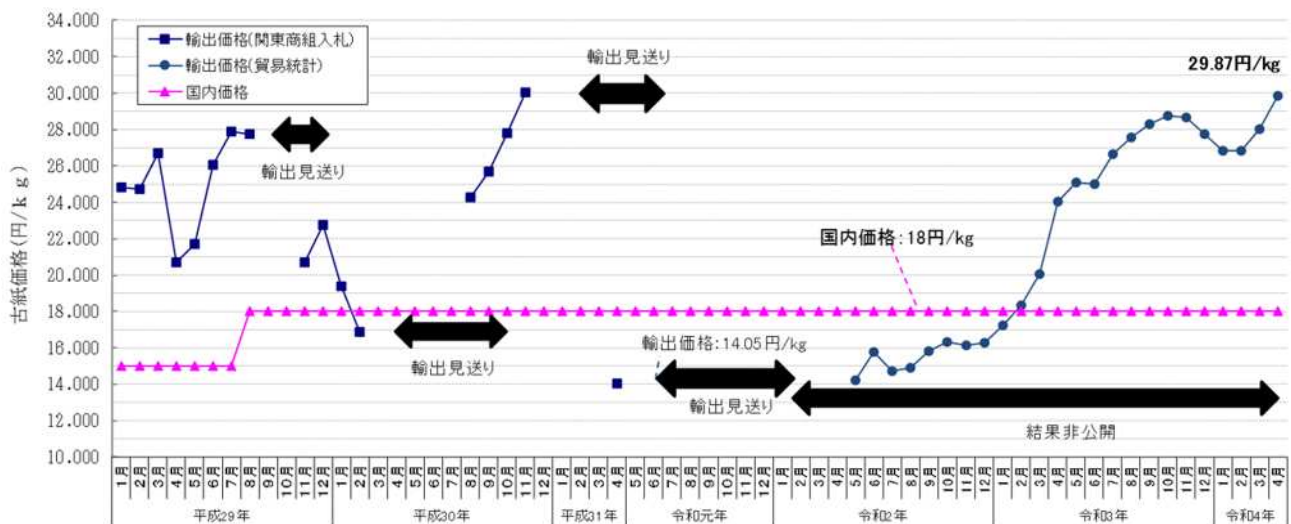
段ボール資材情勢



1 原材料の動向

(1) 段ボール古紙

段ボール原紙の主原料である段ボール古紙につきましては、コロナ禍の経済停滞に加え、直近では、円安などを背景にアジア向けの段ボール原紙の輸出が増加していること、東南アジアを中心に日本の段ボール古紙の引き合いが強く輸出が堅調であること、などから国内古紙の発生量が減少しています。また、古紙回収にかかる物流コスト・人件費が上昇していることから国内古紙価格が上昇傾向にあります。



【段ボール古紙の国内価格および輸出価格の推移】

国内価格：関東地区卸問屋店頭渡し価格（古紙再生促進センター）

輸出価格（関東商組入札）：関東製紙原料直納商工組合から輸出商社への売り値

輸出価格（貿易統計）：財務省貿易統計に基づく価格（古紙再生促進センター）

※関東商組の入札が停止となっているため、令和2年5月より貿易統計のデータを引用

2 段ボール原紙の動向

(1) 輸出動向

令和4年1～4月輸出量は350.6千t（前年同期比104.4%）となり、中国・東南アジアを主体とした高い需要により過去最多となった前年を上回るペースで推移しました。

(2) 価格動向

段ボールの主要原材料である段ボール原紙価格につきましては、令和3年11～12月に製紙メーカー各社が、原燃料価格や物流コストの上昇、環境対策実行へのコスト等を理由に、令和4年2月出荷分からの値上げを打ち出しました。

令和4年4月にはウクライナ情勢による資源高の加速が追い風となり、交渉が進展し、段ボールメーカー等への値上げが浸透した模様です。

現在も原燃料価格は高値圏での推移が続いており、さらに4月以降の急激な円安進展が原燃料の値上がりを加速させていることから、原紙メーカーが追加値上げに動く可能性があるとの見方が出てきております。

製紙メーカー	公表内容
王子マテリア株	2022年2月21日出荷分より、段ボール原紙価格を現行価格より10円/kg以上の修正 要因：燃料・薬品価格の高騰、物流経費の上昇、段ボール古紙の需給の影響、低炭素社会実現への対応
レンゴー株	2022年2月1日出荷分より、段ボール原紙価格を現行価格より10円/kg以上の改定 要因：原燃料価格の高騰、補助材料・物流経費の上昇、温室効果ガス排出の削減計画の確実な実行
大王製紙株	2022年2月1日納入分より、段ボール原紙価格を現行価格より10円/kg以上の改定 要因：原燃料価格の高騰、物流コストの上昇、サステナブルな社会の実現に向けた環境対策
日本東海インダストリアルペーパーサプライ(株)(NTI)	2022年2月1日出荷分より、段ボール原紙価格を現行価格より15%以上の値上げ 要因：原燃料価格の高騰、物流・人件費の上昇、地球温暖化対策の一環のGHG削減計画の継続実行

【製紙メーカー各社の値上げ発表状況】

3 段ボールの動向（一般市況）

(1) 価格動向

段ボールメーカー各社は、段ボール原紙、糊、インクなどの副資材等の値上がりから、ユーザーとの値上げ交渉を行い、4月以降値上げを浸透させている模様です。

以上

最新の統計・発表資料

- ・ 段ボール古紙については「古紙再生促進センター」〈<http://www.prpc.or.jp/document/>〉
「関東製紙原料直納商工組合」〈<http://www.kantoushoso.com>〉
「財務省貿易統計」<http://www.customs.go.jp/toukei/info/index.htm>
- ・ 段ボール箱については「全国段ボール工業組合連合会 HP」〈<https://zendanren.or.jp/data/>〉